

エコアクション21
環境経営レポート
(2022年度)

対象期間：2021年10月1日～2022年9月30日



発行日 2022年 11月 1日

株式会社 石松組

目 次

1.環境経営方針	1
2.事業の概要	2
3.株式会社石松組 エコアクション21組織図及び認証登録範囲	3
4.環境への負荷の状況(取りまとめ).....	5
5.中期計画 環境経営目標とその実績	8
6.来年度の環境経営計画及び取組み計画	11
7.主要な環境活動計画の内容	13
8.代表者による環境活動の取組み結果の評価	16
9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	19

1. 環境経営方針

環境経営方針

環境理念

株式会社 石松組は、企業として次世代により良い地球環境を引き継ぐために、社員一丸となり積極的に環境保全に取り組み、事業活動に伴う環境への負荷を継続的に削減する。

- (1) 自動車燃料・建設機械燃料および電力使用の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- (2) 事業活動に伴う総排水量(水使用量)を削減するために、水資源の節水活動に取り組めます。
- (3) 建設廃棄物の発生抑制・再使用および再生利用を推進することにより、廃棄物排出量の削減に取り組めます。
- (4) 環境に与える影響を考慮し、グリーン購入を推進いたします。
- (5) 環境に関連する法令・条例およびその他の要求事項を遵守いたします。
- (6) 環境経営レポートで積極的に情報を公開することにより、地域住民の方・協力企業の方など、外部との環境コミュニケーションを推進いたします。
- (7) 若年社員の技術力及び知識の不足を補うために内部教育を実施するなど、経営における課題とチャンスを明確にし環境負荷低減に努めます。

決意表明

当社は上記の環境経営方針を実行に移すために、年度環境経営目標を定め各部門に実施させ、継続的改善に努める。これらの実行を確実にするために、毎年経営計画にて必要な経営資源を明確にして提供する。また、顧客要求事項及び法的な要求事項を満たすことの重要性を組織内に徹底すると共に、経営者自らが環境経営システムの実行内容をチェックし改善していく。

2019年 11月 1日
株式会社 石松組
代表取締役 石松 肇

2. 事業の概要

(1) 事業所及び代表者

株式会社石松組

代表取締役 石松 肇

(2) 本社所在地

東京都港区高輪 3-25-35

TEL 03-3447-6785

FAX 03-3444-2766

資材置場所在地

東京都港区高輪 3-20-13

(3) 環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者 長田 守善

TEL 03-3447-6785

(4) 事業の内容

土木構造物・建築物の施工

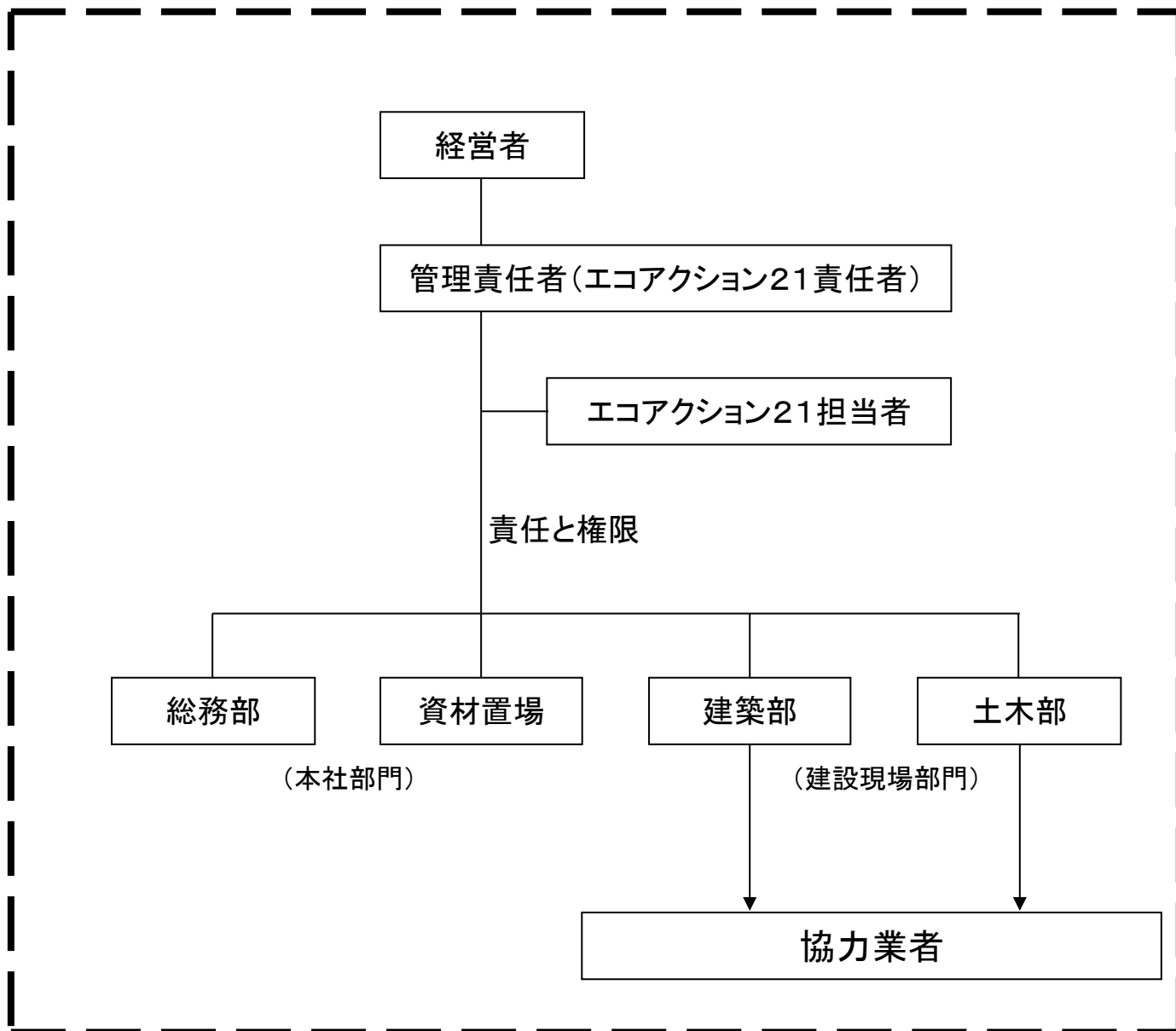
(5) 事業の規模


活動規模	単位	2022年度	2021年度	2020年度
売上高	百万円	386	395	520
従業員	人	18	18	22
事務所床面積	m ²	487	487	487
資材置場床面積	m ²	335	335	335

3. 株式会社石松組 エコアクション21組織図及び認証登録範囲

(1) 組織図

環境経営システムにおける組織図



 : 環境経営システム組織

(2) エコアクション21認証登録範囲

土木構造物・建築物の施工・業務に関わる全てを認証登録範囲とする。

環境経営システムに関する責任と権限一覧表

職務	責任と権限
経営者 石松 肇	環境経営方針の決定 環境経営目標の承認 環境経営目標実行計画書の承認 環境管理責任者の任命 経営資源の手配 マネジメントレビューの実施 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 (エコアクション21責任者) 長田 守善	環境経営方針・環境経営目標の実施管理 環境経営システムの構築管理 環境に関わる文書の管理 環境管理手順書の作成承認 環境に関する責任と権限の見直し 別表1 環境への負荷の自己チェックシート集の確認 別表2 環境への取組みの自己チェックリストの確認 環境経営目標一覧表の作成 法的及びその他要求事項の特定・遵守評価表の確認 エコアクション21委員会の開催 不適合の管理 不適合の是正処置・予防処置の有効性の確認 環境教育実施計画の策定及び実施管理 環境への取組みを行う意義の周知 環境経営レポートの承認及び管理
EA21担当者 石松 次郎 福 雄二郎 石松 晃	環境経営方針・環境経営目標の実施及び啓蒙 環境経営に関わる実績集計 環境管理手順書の作成 別表1 環境への負荷の自己チェックシート集の作成 別表2 環境への取組みの自己チェックリストの作成 法的及びその他要求事項の特定・遵守評価表の作成 エコアクション21委員会への参加 不適合の洗い出し 不適合の是正処置・予防処置の有効性の確認 環境教育の実施 環境への取組みを行う意義の啓蒙 環境経営レポートの作成
法規制に関する 業務の担当者	法令の詳細把握 法令遵守の推進
防火管理者 福 雄二郎 石松 晃	防火に関する啓蒙実施 火災訓練の実施
全従業員	環境問題の現状把握 エコアクション21における環境への取組みの実施 環境経営目標及び環境行動計画の遂行

エコアクション21委員会は、上記事項の責任と権限を有し、全従業員に対して環境活動を周知する。
 全従業員は、上記事項を良く理解し積極的に環境活動を行うこととする。

4. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

全社（本社部門＋建設現場部門）

環境への負荷		単位	2022年度	2021年度	2020年度	
① 温室効果ガス量 (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	二酸化炭素	kg-CO ₂	36,779	32,452	42,832	
	()	kg-CO ₂				
	()	kg-CO ₂				
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t	0.79	0.68	0.65
		()	t			
		最終処分量	t	0.69	0.65	0.60
		再資源化率	%	53.4%	51.1%	52.0%
	産業廃棄物	再資源化量	t	37.7	16.3	15.9
		()	t			
		最終処分量	t	17.7	23.0	19.4
		再資源化率	%	68.1%	41.5%	45.0%
③-1 総排水量	公共用水域	m ³				
	下水道	m ³	267	335	347	
③-2 水使用量	上水	m ³	267	335	347	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
④ 化学物質使用量	エチルベンゼン	kg	0.11	0.22	3.73	
	キシレン	kg	0.35	0.71	3.12	
	ベンゼン	kg	0.58	0.24	0.12	
	トルエン	kg	6.88	3.11	1.56	
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギー除く)	MJ	163,177	148,806	156,412	
	化石燃料	MJ	218,848	180,751	270,738	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t				
	環境負荷低減に資する製品等	t				

※1 二酸化炭素排出量の排出係数は、令和3年1月7日環境省発表の(株)東急パワーサプライの調整後排出係数0.490kg-CO₂/kWhを使用

※2 資源等使用量及び総製品生産量または総商品販売量の項目は該当無し

4-1. 環境への負荷の状況(部門別 取りまとめ表)

本社部門

環境への負荷		単位	2022年度	2021年度	2020年度	
① 温室効果ガス量 (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	二酸化炭素	kg-CO ₂	23,135	21,211	24,037	
	()	kg-CO ₂				
	()	kg-CO ₂				
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t	0.79	0.68	0.65
		()	t			
		最終処分量	t	0.69	0.65	0.60
		再資源化率	%	53.4%	51.1%	52.0%
	産業廃棄物	再資源化量	t			
		()	t			
		最終処分量	t			
		再資源化率	%			
③-1 総排水量	公共用水域	m ³				
	下水道	m ³	261	331	331	
③-2 水使用量	上水	m ³	261	331	331	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
④ 化学物質使用量		kg				
		kg				
		kg				
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギー除く)	MJ	163,173	148,802	151,131	
	化石燃料	MJ	9,574	8,273	11,375	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
⑦ 総製品生産量または	製品生産量等	t				
総商品販売量	環境負荷低減に資する製品等	t				

※1 二酸化炭素排出量の排出係数は、令和3年1月7日環境省発表の(株)東急パワーサプライの調整後排出係数0.490kg-CO₂/kWhを使用

※2 資源等使用量及び総製品生産量または総商品販売量の項目は該当無し

4-2. 環境への負荷の状況(部門別 取りまとめ表)

建設現場部門

環境への負荷		単位	2022年度	2021年度	2020年度	
① 温室効果ガス量 (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	二酸化炭素	kg-CO ₂	13,644	11,241	18,795	
	()	kg-CO ₂				
	()	kg-CO ₂				
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t			
		()	t			
		最終処分量	t			
		再資源化率	%			
	産業廃棄物	再資源化量	t	37.7	16.3	15.9
		()	t			
		最終処分量	t	17.7	23.0	19.4
		再資源化率	%	68.1%	41.5%	45.0%
③-1 総排水量	公共用水域	m ³				
	下水道	m ³	6	4	16	
③-2 水使用量	上水	m ³	6	4	16	
	工業用水	m ³				
	地下水	m ³				
④ 化学物質使用量	エチルベンゼン	kg	0.11	0.22	3.73	
	キシレン	kg	0.35	0.71	3.12	
	ベンゼン	kg	0.58	0.24	0.12	
	トルエン	kg	6.88	3.11	1.56	
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギー除く)	MJ	4	4	5,281	
	化石燃料	MJ	209,274	172,478	259,363	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t				
	環境負荷低減に資する製品等	t				

※1 二酸化炭素排出量の排出係数は、令和3年1月7日環境省発表の(株)東急パワーサプライの調整後排出係数0.490kg-CO₂/kWhを使用

※2 資源等使用量及び総製品生産量または総商品販売量の項目は該当無し

5. 中期計画 環境経営目標とその実績

第2期中長期計画が2019年度にて終了いたしましたので、第3期中期計画(2019年10月～2023年9月)として環境項目とその環境目標値を以下に示します。

第3期中期計画での目標値は、第2期中長期計画の4ヶ年(2016年度～2019年度)の実績値の平均値を基準値とし、1%/年の削減を目標として設定いたしました。

目標達成に向けて、全従業員一丸となって取り組む所存です。

環境管理 第3期中期計画 環境経営目標・実績一覧表

部門： 本社

※今年度は、第2期中長期計画の4ヶ年平均値-3%を目標値とする。

No.	環境目的	2009年度 (2008年10月～ 2009年9月)	2020年度目標 (2019年10月～ 2020年9月)			判定	2021年度目標 (2020年10月～ 2021年9月)			判定	2022年度目標 (2021年10月～ 2022年9月)			判定	2023年度目標 (2022年10月～ 2023年9月)			判定
		EA21開始当初	第2期平均値 ×99%	実績値	%		第2期平均値 ×98%	実績値	%		第2期平均値 ×97%	実績値	%		第2期平均値 ×96%	実績値	%	
1	二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー) 排出係数0.490kg-CO ₂ /kwh	41,231 kg-CO ₂	23,913 kg-CO ₂	24,037	101%	×	23,669 kg-CO ₂	21,211	90%	○	23,425 kg-CO ₂	23,135	99%	○	23,186 kg-CO ₂			
2	購入電力	51,876 KW	38,596 KW	41,981	109%	×	38,202 KW	41,334	108%	×	37,809 KW	45,326	120%	×	37,422 KW			
3	都市ガス	360 m ³	111 m ³	92	83%	○	110 m ³	177	161%	×	109 m ³	120	110%	×	108 m ³			
4	ガソリン	4,804 L	593 L	341	58%	○	581 L	248	43%	○	575 L	287	50%	○	569 L			
5	軽油	— L	— L	—	—	—	— L	—	—	—	— L	—	—	—	— L			
6	廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)	5.2 t	3.8 t	2.6	68%	○	3.8 t	2.1	55%	○	3.7 t	1.5	40%	○	3.7 t			
7	排水量削減(節水)	426 m ³	298 m ³	331	111%	×	295 m ³	331	112%	×	292 m ³	261	89%	○	289 m ³			

部門： 建設現場

※今年度は、第2期中長期計画の4ヶ年平均値-3%を目標値とする。

No.	環境目的	2009年度 (2008年10月～ 2009年9月)	2020年度目標 (2019年10月～ 2020年9月)			判定	2021年度目標 (2020年10月～ 2021年9月)			判定	2022年度目標 (2021年10月～ 2022年9月)			判定	2023年度目標 (2022年10月～ 2023年9月)			判定
		EA21開始当初	第2期平均値 ×99%	実績値	%		第2期平均値 ×98%	実績値	%		第2期平均値 ×97%	実績値	%		第2期平均値 ×96%	実績値	%	
1	二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー) 排出係数0.490kg-CO ₂ /kwh	35,923 kg-CO ₂	28,039 kg-CO ₂	18,795	67%	○	27,752 kg-CO ₂	11,241	41%	○	27,466 kg-CO ₂	13,644	50%	○	27,058 kg-CO ₂			
2	購入電力	2,010 KW	4,114 KW	1,467	36%	○	4,072 KW	1	0%	○	4,030 KW	1	0%	○	3,970 KW			
3	ガソリン	7,298 L	8,845 L	6,940	78%	○	8,754 L	4,461	51%	○	8,664 L	5,361	62%	○	8,535 L			
4	軽油	3,377 L	1,622 L	732	45%	○	1,605 L	622	39%	○	1,589 L	800	50%	○	1,565 L			
5	廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)	89.0 t	91.5 t	33.7	37%	○	90.5 t	39.4	44%	○	89.6 t	55.4	62%	○	88.3 t			
6	排水量削減(節水)	117 m ³	23.8 m ³	16.0	67%	○	23.5 m ³	4.0	17%	○	23.3 m ³	6.0	26%	○	22.9 m ³			

グリーン購入品

	目標率	達成率	判定	目標率	達成率	判定	目標率	達成率	判定	目標率	達成率	判定
ビル灯具のLED化	85%	85%	○	85%	85%	○	85%	85%	○	85%		
コピー用紙	85%	85%	○	86%	86%	○	87%	87%	○	88%		

自らが施工する製品及びサービスに関する項目

	目標(件)	達成(件)	判定	目標(件)	達成(件)	判定	目標(件)	達成(件)	判定	目標(件)	達成(件)	判定
環境に関するクレーム	0件	0件	○	0件	0件	○	0件	0件	○	0件		

本年度の目標値及び実績値の各項目について、以下の表に示します。

計画書/環境報告書 (2022年度) 2021年10月~2022年9月

部門 : 本社

※今年度は、第2期中長期計画の4年平均値-3%を目標値とした。

No.	目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		1	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	目標(月) kg-CO ₂	1800	1900	2100	2100	2200	2000	1750	1750	1800	2100
実績(月)	1496			1551	1980	2265	2421	2347	1947	1496	1605	2044	2048	1936
達成度(月)	(304)			(349)	(120)	165	221	347	197	(254)	(195)	(56)	48	11
達成度(%)	83%			82%	94%	108%	110%	117%	111%	85%	89%	97%	102%	101%
目標(累計) kg-CO ₂	1,800			3,700	5,800	7,900	10,100	12,100	13,850	15,600	17,400	19,500	21,500	23,425
実績(累計)	1,496			3,047	5,027	7,292	9,713	12,060	14,007	15,503	17,108	19,151	21,199	23,135
達成度(累計)	(304)		(653)	(773)	(608)	(387)	(40)	157	(97)	(292)	(349)	(301)	(290)	
達成度(%)	83%		82%	87%	92%	96%	100%	101%	99%	98%	98%	99%	99%	
責任者	手段の計画		評価											
石松(次郎)	3階までのエレベーター使用抑制 冷暖房温度の設定の管理の徹底 残業時の事務所照明範囲の配慮 パソコン等の節電対策の徹底		○			○			○			○		
手段の実績	仮眠室利用が増えたものの、ガソリン購入が大幅に減り、目標値に近い結論となる。													
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
購入電力	目標(月) kW	2900	2900	3200	3200	3500	3400	3100	2900	2900	3200	3400	3209	
	実績(月)	3039	3130	3770	4543	4857	4438	3781	2986	3020	3948	4047	3757	
	達成度(月)	139	230	570	1343	1357	1038	681	96	120	748	647	548	
	達成度(%)	105%	108%	118%	142%	139%	131%	122%	103%	104%	123%	119%	117%	
	目標(累計) kW	2,900	5,800	9,000	12,200	15,700	19,100	22,200	25,100	28,000	31,200	34,600	37,809	
	実績(累計)	3,039	6,169	9,939	14,482	19,339	23,777	27,558	30,554	33,574	37,522	41,569	45,326	
達成度(累計)	139	369	939	2,282	3,639	4,677	5,358	5,454	5,574	6,322	6,969	7,517		
達成度(%)	105%	106%	110%	119%	123%	124%	124%	122%	120%	120%	120%	120%		
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)	3階までのエレベーター使用抑制 冷暖房温度の設定の管理の徹底 残業時の事務所照明範囲の配慮 パソコン等の節電対策の徹底	○			×			×			×			
手段の実績	12月の事務所稼働時間増加及び夜間工事開始に伴い、エアコン使用率が上がった。													
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
都市ガス	目標(月) m ³	5	8	13	15	16	11	8	7	7	7	6	6	
	実績(月)	3	8	11	18	19	22	21	13	2	0	2	1	
	達成度(月)	(2)	0	(2)	3	3	11	13	6	(5)	(7)	(4)	(5)	
	達成度(%)	60%	100%	85%	120%	119%	200%	263%	186%	29%	0%	33%	17%	
	目標(累計) m ³	5	13	26	41	57	68	76	83	90	97	103	109	
	実績(累計)	3	11	22	40	59	81	102	115	117	117	119	120	
達成度(累計)	(2)	(2)	(4)	(1)	2	13	26	32	27	20	16	11		
達成度(%)	60%	85%	85%	98%	104%	119%	134%	139%	130%	121%	116%	110%		
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)	不要な仮眠室利用の禁止 給湯温度の設定を低くする。	○			×			×			×			
手段の実績	夜間工事による仮眠室利用の増加が購入電力同様、影響している。													
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
ガソリン	目標(月) L	47	47	50	47	50	50	50	47	47	47	47	46	
	実績(月)	0	0	47	0	0	54	21	0	52	47	26	40	
	達成度(月)	(47)	(47)	(3)	(47)	(50)	4	(29)	(47)	5	0	(21)	(6)	
	達成度(%)	0%	0%	94%	0%	0%	108%	42%	0%	111%	100%	55%	87%	
	目標(累計) L	47	94	144	191	241	291	341	388	435	482	529	575	
	実績(累計)	0	0	47	47	47	101	122	122	174	221	247	287	
達成度(累計)	(47)	(94)	(97)	(144)	(194)	(190)	(219)	(266)	(261)	(261)	(282)	(288)		
達成度(%)	0%	0%	33%	25%	20%	35%	36%	31%	40%	46%	47%	50%		
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)	車両のアイドリングストップの徹底 運行ルート確認の徹底 立会い等での外出時に公共機関の利用 エコ運転の徹底	○			○			○			○			
手段の実績	営業車での移動を抑えて、電車等の公共交通機関をなるべく利用するよう周知している。													
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
軽油	目標(月) L													
	実績(月)													
	達成度(月)													
	達成度(%)													
	目標(累計) L													
	実績(累計)													
達成度(累計)														
達成度(%)														
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)		軽油使用の営業車がなくなったため、除外												
手段の実績														
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
廃棄物排出量削減(リサイクル推進)	目標(月) t	0.30	0.30	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	実績(月)	0.13	0.10	0.15	0.10	0.14	0.11	0.13	0.13	0.12	0.14	0.12	0.12	
	達成度(月)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	
	達成度(%)	43%	33%	38%	33%	47%	37%	43%	43%	40%	47%	40%	40%	
	目標(累計) t	0.30	0.60	1.00	1.30	1.60	1.90	2.20	2.50	2.80	3.10	3.40	3.70	
	実績(累計)	0.13	0.23	0.38	0.48	0.62	0.73	0.86	0.99	1.11	1.25	1.37	1.49	
達成度(累計)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)		
達成度(%)	43%	38%	38%	37%	39%	38%	39%	40%	40%	40%	40%	40%		
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)	材料、製品注文時の簡易包装の推進 一般廃棄物の分別を行い、リサイクルを推進	○			○			○			○			
手段の実績	データによるやむを得ない削減、裏紙再利用の推進等により、年々排出量は減ってきている。													
目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期				
排水量削減(節水)	目標(月) m ³	49	50	50	48	48	48	48	45	45	52	52	52	
	実績(月)	54	46	46	45	45	44	44	35	35	37	37	37	
	達成度(月)	5.0	0.0	(4.0)	0.0	(3.0)	0.0	(4.0)	0.0	(10.0)	0.0	(15.0)	0.0	
	達成度(%)	110%	92%	92%	94%	92%	92%	92%	78%	71%	71%	71%	71%	
	目標(累計) m ³	49	99	149	197	245	293	341	386	431	476	521	566	
	実績(累計)	54	100	146	191	236	280	324	369	414	459	504	549	
達成度(累計)	5	1	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(6)	(6)	(16)	(16)	(16)		
達成度(%)	110%	110%	101%	101%	99%	99%	97%	97%	93%	93%	89%	89%		
責任者	手段の計画	評価												
石松(次郎)	小まめな開閉栓による日常的な節水 作業・清掃・洗濯時、節水の心掛け	×			○			○			○			
手段の実績	10月に受水槽内の清掃を行ったため、水使用量は増加した。													

計画書/環境報告書 (2022年度) 2021年10月~2022年9月

部門 : 建設現場

※今年度は、第2期中長期計画の4ヶ年平均値-3%を目標値とした。

No.	目標	2022年度 1/4期			2022年度 2/4期			2022年度 3/4期			2022年度 4/4期			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		1	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) (排出係数0.490kg-CO2/kWh)	目標(月) kg-CO2	2,250	2,250	2,300	2,300	2,400	2,300	2,250	2,216	2,300	2,300
実績(月)	1,242			1,083	1,484	944	974	1,419	871	935	1,247	1,344	1,144	856
達成度(月)	(1,008)			(1,167)	(816)	(1,356)	(1,426)	(881)	(1,279)	(1,281)	(1,053)	(959)	(1,156)	(1,444)
達成度(%)	55%			48%	65%	41%	41%	62%	43%	42%	54%	58%	50%	37%
目標(累計) kg-CO2	2,250			4,500	6,800	9,100	11,500	13,800	16,050	18,266	20,566	22,866	25,166	27,466
実績(累計)	1,242			2,325	3,809	4,754	5,728	7,147	8,118	9,053	10,300	11,644	12,789	13,644
達成度(累計)	(1,008)		(2,175)	(2,991)	(4,347)	(5,772)	(6,653)	(7,932)	(9,213)	(10,266)	(11,222)	(12,377)	(13,822)	
累計達成度(%)	55%		52%	56%	52%	50%	52%	51%	50%	50%	51%	51%	50%	
責任者	手段の計画		昼休み時間など作業時間外の節電 エコ運転の徹底 車両のアイドリングストップの徹底 手戻り作業をなくすこと											
長田	手段の実績		購入電力も無く、稼働現場が例年より激減している影響が大きいため。 年度末より工事が一時的に増え、ガソリン、軽油の使用量が増えた。 工事予算削減により、当社で受注した工事が引き続き大幅に減っているため。											
今年度コロナの影響により受注工事が大幅に減り、工事現場稼働が激減したため。														
2	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) 購入電力		目標(月) kW	340	340	340	340	350	330	330	330	330	330	340
		実績(月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		達成度(月)	(340)	(340)	(340)	(340)	(350)	(330)	(330)	(330)	(330)	(329)	(330)	(340)
		達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		目標(累計) kW	340	680	1020	1360	1710	2040	2370	2700	3030	3360	3690	4030
		実績(累計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	達成度(累計)	(340)	(680)	(1020)	(1360)	(1710)	(2040)	(2370)	(2700)	(3030)	(3359)	(3689)	(4029)	
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	責任者	手段の計画	昼休み時間など作業時間外の節電											
	長田	手段の実績	現場事務所を設けることも無く、電力購入を要する特定工事が無かった。 現場事務所を設けることも無く、電力購入を要する特定工事が無かった。 現場事務所を設けることも無く、電力購入を要する特定工事が無かった。 社宅工事、現場ハウスの設置が無くなり、大幅に増減が影響される。											
	今年度コロナの影響により受注工事が大幅に減り、工事現場稼働が激減したため。													
	3	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) ガソリン	目標(月) L	720	720	720	720	730	730	720	720	720	720	724
実績(月)			459	382	631	319	451	546	385	433	458	622	341	334
達成度(月)			(261)	(338)	(89)	(401)	(279)	(184)	(335)	(287)	(262)	(98)	(379)	(390)
達成度(%)			64%	53%	88%	44%	62%	75%	53%	60%	64%	86%	47%	46%
目標(累計) L			720	1440	2160	2880	3610	4340	5060	5780	6500	7220	7940	8664
実績(累計)			459	841	1472	1791	2242	2788	3173	3606	4064	4686	5027	5361
達成度(累計)		(261)	(559)	(688)	(1089)	(1368)	(1552)	(1887)	(2174)	(2436)	(2534)	(2913)	(3303)	
累計達成度(%)		64%	58%	68%	62%	62%	64%	63%	62%	63%	65%	63%	62%	
責任者		手段の計画	エコ運転の徹底 車両のアイドリングストップの徹底 立会い等での外出時に公共機関の利用を促進											
長田		手段の実績	コロナ禍による予算削減で、工事稼働現場が大幅に少なかったため。 年度末にかけては工事が一時増えたが、電通も取り入れたため減少した。 コロナによる予算削減で、工事稼働現場が大幅に少なかったため。 工事量の激減が引き続いた。燃費費を活用した燃費管理でも比較する。											
4		二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) 軽油	目標(月) L	130	130	130	130	140	145	130	130	130	130	134
			実績(月)	97	100	47	99	0	93	54	0	100	0	158
	達成度(月)		(33)	(30)	(83)	(31)	(140)	(52)	(76)	(130)	(30)	(130)	(28)	(82)
	達成度(%)		75%	77%	36%	76%	0%	64%	42%	0%	77%	0%	122%	39%
	目標(累計) L		130	260	390	520	660	805	935	1065	1195	1325	1455	1589
	実績(累計)		97	197	244	343	343	436	490	490	590	590	748	800
	達成度(累計)	(33)	(63)	(146)	(177)	(317)	(369)	(445)	(575)	(605)	(735)	(707)	(789)	
	累計達成度(%)	75%	76%	63%	66%	52%	54%	52%	46%	49%	45%	51%	50%	
	責任者	手段の計画	車両のアイドリングストップの徹底 不要な積載物を小まめに整理 エコ運転の徹底											
	長田	手段の実績	コロナによる予算削減で、工事稼働現場が大幅に少なかったため。 稼働現場はあるものの、軽油使用のトラックやユニック車の使用頻度が少なかった。 コロナによる予算削減で、工事稼働現場が大幅に少なかったため。 コロナによる予算削減に伴う影響があり、工事車両の使用頻度が激減しているため。											
	5	廃棄物排出量削減(リサイクル推進)	目標(月) T	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	8.0	7.5	7.5	7.5	7.0	7.0
			実績(月)	2.8	0.0	0.0	0.0	18.2	12.3	5.5	10.0	3.9	2.7	0.0
達成度(月)			(5)	(8)	(8)	(8)	11	4	(2)	3	(4)	(4)	(7)	(8)
達成度(%)			37%	0%	0%	0%	243%	154%	73%	133%	52%	39%	0%	0%
目標(累計) T			7.5	15.0	22.5	30.0	37.5	45.5	53.0	60.5	68.0	75.0	82.0	89.6
実績(累計)			2.8	2.8	2.8	2.8	21.0	33.3	38.8	48.8	52.7	55.4	55.4	55.4
達成度(累計)		(5)	(12)	(20)	(27)	(17)	(12)	(14)	(12)	(15)	(20)	(27)	(34)	
累計達成度(%)		37%	19%	12%	9%	56%	73%	73%	81%	78%	74%	68%	62%	
責任者		手段の計画	材料、製品注文時の簡易包装の推進 可能な限り型枠材、建築資材の再利用 一般廃棄物の分別を行い、リサイクルを推進											
石松(次郎)		手段の実績	産業発生工事の増減により、数値にバラつきが生じる。 コンクリート廃材やアスファルト廃材などの重量物の有無により、数値が上下する。 産業発生工事の増減により、現場稼働にバラつきが生じる。 工事自体の受注が減り、現場稼働が激減している影響が大きい。											
6		排水量削減(節水)	目標(月) m³	2.0	2.0	2.0	4.0	2.0	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	3.5
			実績(月)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	達成度(月)		(1)	(1)	(1)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	
	達成度(%)		50%	50%	50%	25%	25%	25%	26%	26%	26%	25%	29%	
	目標(累計) m³		2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	15.8	19.6	23.4	27.2	31.0	34.8
	実績(累計)		0.0	1.0	2.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
	達成度(累計)	(2)	(3)	(4)	(6)	(7)	(8)	(10)	(12)	(14)	(16)	(17)	(17)	
	累計達成度(%)	0%	25%	33%	25%	30%	33%	31%	38%	43%	45%	45%	45%	
	責任者	手段の計画	小まめな開閉による日常的な節水 作業・清掃・洗車時、節水の心掛け											
	長田	手段の実績	現場事務所を設けることも無く、社宅工事などの特定工事が無かった。 工事の種類によって水道使用の有無があるが、節水の意識は引き続き高い状態にある。 車両の清掃、少量の現場清掃用のみ使用となっている。 購入電力同様、社宅工事、現場ハウスの設置が無くなり、大幅に影響される。											

6. 来年度の目標値及びその手段の計画について、以下の表に示します。

計画書/環境報告書（2023年度）2022年10月～2023年9月

部門：本社

※今年度は、第2期中長期計画の4ヶ年平均値-4%を目標値とする。

No.	目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期			
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	目標(月)	1760	1860	2060	2060	2150	2060	1780	1710	1760	2100	1950	1936	
		実績(月)													
		達成度(月)													
		達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		目標(累計)	1,760	3,620	5,680	7,740	9,890	11,950	13,730	15,440	17,200	19,300	21,250	23,186	
		実績(累計)													
	達成度(累計)														
	達成度(累計)														
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	責任者	手段の計画	評価												
	石松(次郎)	事務所エレベーターの使用制限 空調機器、給湯器の温度設定遵守 必要最小限の照明使用 アイドリングストップの徹底	手段の実績												
	目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期			
二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
購入電力		2840	2840	3180	3180	3430	3330	3030	2840	2840	3260	3440	3212		
目標(月)															
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
目標(累計)		2,840	5,680	8,860	12,040	15,470	18,800	21,830	24,670	27,510	30,770	34,210	37,422		
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
責任者	手段の計画	評価													
石松(次郎)	空調機の適正使用(使用時間、温度 事務所3階までELVの使用制限 事務所内、照明使用範囲の配慮 OA機器類不使用時の節電を徹底	手段の実績													
目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期				
二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
都市ガス		5	8	13	15	17	11	7	7	7	6	6	6		
目標(月)															
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
目標(累計)		5	13	26	41	58	69	76	83	90	96	102	108		
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
責任者	手段の計画	評価													
石松(次郎)	夏季の給湯器使用の抑制 不要な仮眠室利用の禁止 給湯温度の設定を低くする	手段の実績													
目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期				
二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
ガソリン		45	45	50	50	50	50	50	45	45	47	45	47		
目標(月)															
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
目標(累計)		45	90	140	190	240	290	340	385	430	477	522	569		
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
責任者	手段の計画	評価													
石松(次郎)	アイドリングストップの徹底 急加速、急発進の禁止 (エコドライブの徹底) 外出時に公共機関の利用促進	手段の実績													
目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期				
二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
軽油															
目標(月)															
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)															
目標(累計)															
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)															
責任者	手段の計画	評価													
		軽油使用の営業車が無くなったため、除外													
目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期				
廃棄物排出量削減(リサイクル推進)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
目標(月)		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
目標(累計)		0.3	0.6	0.9	1.2	1.5	1.9	2.2	2.5	2.8	3.1	3.4	3.7		
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
責任者	手段の計画	評価													
石松(次郎)	一般廃棄物の分別を徹底する コピー用紙の裏紙再使用を推進 資材納入時には簡易包装を依頼	手段の実績													
目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期				
排水量削減(節水)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
目標(月)		45	25	23	22	23	25	23	23	20	20	20	20		
実績(月)															
達成度(月)															
達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
目標(累計)		45	70	93	115	138	163	186	209	229	249	269	289		
実績(累計)															
達成度(累計)															
達成度(累計)															
累計達成度(%)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
責任者	手段の計画	評価													
石松(次郎)	水道を流しっぱなしにしない 清掃、洗車時の節水を心掛ける 仮眠室は必要以上に利用しない	手段の実績													

計画書/環境報告書 (2023年度) 2022年10月~2023年9月

部門 : 建設現場

※今年度は、第2期中長期計画の4ヶ年平均値-4%を目標値とする。

No.	目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期		
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	二酸化炭素排出量削減(省エネルギー) (排出係数0.490kg-CO ₂ /kWh)	目標(月) kg-CO ₂	2250	2250	2300	2300	2400	2300	2250	2200	2200	2200	2200	2208
		実績(月)												
		達成度(月)												
		達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		目標(累計) kg-CO ₂	2,250	4,500	6,800	9,100	11,500	13,800	16,050	18,250	20,450	22,650	24,850	27,058
		実績(累計)												
		達成度(累計)												
		達成度(累計)												
		累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	責任者	手段の計画												
	長田	エコドライブ、アイドリングストップの徹底 省エネタイプの電動工具を選定 作業必要外の電力を抑制 計画を密に行い手戻り作業をなくす												
		目標	2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期		
	目標(月) KW	330	330	330	330	340	330	330	330	330	330	330	330	
	実績(月)													
	達成度(月)													
	達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	目標(累計) KW	330	660	990	1,320	1,660	1,990	2,320	2,650	2,980	3,310	3,640	3,970	
	実績(累計)													
	達成度(累計)													
	達成度(累計)													
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
責任者	手段の計画													
長田	現場事務所、仮設ハウスにおいては、 不在時の消灯を徹底する 電動工具使用時は、必要以上に 作業負荷を掛けない													
	目標	2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期			
	目標(月) L	720	700	700	700	720	720	700	700	700	720	720	735	
	実績(月)													
	達成度(月)													
	達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	目標(累計) L	720	1,420	2,120	2,820	3,540	4,260	4,960	5,660	6,360	7,080	7,800	8,535	
	実績(累計)													
	達成度(累計)													
	達成度(累計)													
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
責任者	手段の計画													
長田	移動時はエコドライブを徹底する 工事車両アイドリングストップの徹底 可能な限り公共交通機関を利用する 目的地までの運行ルートを確認													
	目標	2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期			
	目標(月) L	130	130	130	130	140	140	125	125	130	130	125	130	
	実績(月)													
	達成度(月)													
	達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	目標(累計) L	130	260	390	520	660	800	925	1,050	1,180	1,310	1,435	1,565	
	実績(累計)													
	達成度(累計)													
	達成度(累計)													
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
責任者	手段の計画													
長田	不要な積載物は小まめに荷卸しする 移動時はエコドライブを徹底する 工事車両アイドリングストップの徹底													
2	目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期		
		目標(月) T	7.0	7.5	7.5	7.5	7.5	8.5	7.5	7.0	7.0	7.0	7.0	
		実績(月)												
		達成度(月)												
	達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
	目標(累計) T	7.0	14.5	22.0	29.5	37.0	45.5	53.0	60.0	67.0	74.0	81.0	88.3	
	実績(累計)													
	達成度(累計)													
	達成度(累計)													
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
責任者	手段の計画													
石松(次郎)	仮設材の再使用を推進 養生材、型枠材の再利用を推進 資材受入れは簡易包装を依頼													
3	目標		2023年度 1/4期			2023年度 2/4期			2023年度 3/4期			2023年度 4/4期		
		目標(月) m ³	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.9	2.0	2.0	
		実績(月)												
		達成度(月)												
	達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
	目標(累計) m ³	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	13.5	15.0	16.9	18.9	20.9	22.9	
	実績(累計)													
	達成度(累計)													
	達成度(累計)													
	累計達成度(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
責任者	手段の計画													
長田	水道を流しっぱなしにしない 現場清掃、洗車は節水を心掛ける (ハイウォッシャーにて使用量を抑制)													

7. 主要な環境経営活動計画の内容

弊社では、以下のように環境活動への取組みを行っています。

(1) 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)

① 本社

- ・エアコンの温度(夏季:28℃、冬季:22℃)の設定の徹底
- ・パソコン不使用时のスリープモード設定の徹底
- ・残業時の事務所内照明範囲の配慮を徹底
- ・1階から3階までのエレベーター使用抑制
- ・車両のアイドリングストップ、エコドライブの徹底 (燃費管理一覧表を活用)
- ・公共交通機関利用の促進

② 建設現場

- ・作業時間外の照明、電動工具不使用时の節電を徹底
- ・工事用車両のアイドリングストップ、エコドライブの徹底 (燃費管理一覧表を活用)
- ・発電器不使用时の小まめなエンジンの停止を徹底
- ・工事車両不要時の通勤には公共交通機関利用を徹底

(2) 廃棄物排出量削減(リサイクル推進)

① 本社

- ・材料、製品注文時の簡易包装の推進
- ・一般廃棄物の分別を行い、リサイクルを推進
- ・コピー用紙裏紙の有効活用を推進

② 建設現場

- ・材料、製品注文時の簡易包装の推進
- ・可能な限り型枠材、建築資材の再使用を推進
- ・廃棄物の分別を行い、リサイクルを推進

(3) 排水量削減(節水)

① 本社

- ・小まめな開閉栓による日常的な節水を徹底
- ・清掃や洗車時、全員が節水を心掛ける

②建設現場

- ・小まめな開閉栓による日常的な節水を徹底
- ・作業・清掃・洗車時、全員が節水を心掛ける

(4) グリーン購入

古紙の利用100%の名刺を使用することや環境に配慮されて製造された紙を優先的に使用するなど、グリーン購入に努めております。

(5) SDGs

持続可能な地域社会の創造に貢献することを使命と捉え、全社員一丸となって取り組めます。

☆ 目標No.3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
所属社員や支えるご家族の健康確保に向け、定期的な健康診断の実施や、ご家族の方の分も含め、インフルエンザ等ワクチンの接種を会社負担にて実施しております。

☆ 目標No.11 安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現する
主要顧客となる鉄道インフラの重要性を鑑み緊急時の対応を実施しているほか、大規模震災時の国道巡回協力システムにも参画しております。

☆ 目標No.12 持続可能な方法で生産し、消費する取組みを進める
3R活動を引き続き推進し、環境負荷低減に努めてまいります。

弊社における緊急事態を火災発生と特定し、社内消火訓練を実施いたしました。



設備設置位置の確認や避難梯子を実際に使用して訓練を実施いたしました。



消防関連のポスターも各所に掲示しております。



8. 代表者による環境活動の取組み結果の評価

エコアクション21の活動を開始してから、13年目の審査時期を迎えることとなりました。

今期の2022年度も、昨年度に続きコロナ影響を身に染みて感じる年度となってしまいました。

主に鉄道工事を行っている弊社であります。顧客の鉄道旅客運賃の減少による影響が甚大に影響し、工事発注そのものが少なくなってしまいました。それに伴い、弊社で受注できた工事案件も過去に類を見ないほど激減し、いまなお厳しい状況が続いております。

今期の各管理項目における数値データも多分にその影響が出ておりますが、このようなご時世にこそ、経営をひっ迫させないためにも随所における節電、節水、リサイクルについて、いま一度皆で見つめ直し、エコアクション21の取組みを邁進させねばならないと感じているところです。

以下、2022年度の取組み結果とその評価を記載いたします。

今期も、第2期中長期計画4ヶ年の実績値の平均値を基準として採用し、その3%削減を目標値として決めました。本来であれば目標を達成できるか、できないかの目標値を設定して、社員一人ひとりのモチベーションを上げるべきかと思いますが、このコロナ影響による特異な受注環境下で数値による比較や達成感は難しかったように感じます。

今期の本社部門においては、仮眠室利用の有無による影響が昨年同様大きかったと思います。工事の減少による外出も減り事務所滞在率が増えたことも要因の一つかと思いますが、都市ガスの項目は目標値+10%という未達に終わり、購入電力も同様に+20%の目標未達となりました。購入電力の未達は、エアコンを1台増設した影響もあるかと思われます。

外出機会が減ったために、ガソリンの使用量は目標値-50%という大幅な削減となりました。その結果、二酸化炭素排出量削減の全体値としては、目標値-1%の達成となり、昨年度と同様、数値は良好な結果となりました。しかしながら、目標達成とはいえコロナの影響による受注減が過分に影響していることを鑑みると、達成、未達成で一喜一憂できないことと感じております。

排水量削減(節水)の項目においては、2期連続で目標未達となっておりますが、今期は-11%の目標達成となりました。これは、仮眠室の利用が前期より少なかったことが主たる要因かと思われますが、節水に対する啓蒙により意識が向上したことも影響していると思われます。

この先は徐々に受注が回復してくる見込みではおりますが、コロナによる影響の予断も許さない状況であります。目標値や管理手法については、適宜検討していきましょう。

今期の建設現場部門においても、コロナによる受注大幅減の影響が大きかったと思います。長期工事が減ったため現場ハウスを設けることも残念ながら無く、購入電力は大幅に減りました。年末、年度末は例年程度の工事量があったものの、多くの時期において現場稼働が少なく、

移動機会も減り、ガソリン、軽油の消費量も大幅に減少いたしました。車両燃料関連の数値が大きく違ってくるのはその点に左右されますが、低燃費車両に切り替えるなど、設備更新もこの先考えてまいりましょう。

二酸化炭素排出量の削減目標は目標値-50%という大幅な達成で今期は終わりましたが、本社部門同様、コロナによる受注減という事柄が大きく影響していることなので、車両の燃費管理(原単位での管理)ということを他の項目にも適用できないか、検討してみてください。

廃棄物排出量の削減については、同様に工事受注が減り施工現場の稼働が少なかったことで大幅な削減となりました。こちらについても年度によって廃材種類が変わりその重量、比重が大きく影響いたします。目標値の設定方法や比較検討がしやすい方法がないかどうか、今後の課題として引き続き検討していきましょう。

排水量削減(節水)の項目においても同じですが、社宅工事や現場ハウスを設ける現場等、特定工事による数値の影響が大きいところであります。目標に対して達成したからといってただ単純に良かったとはせずに、引き続き節水の意識があるのかどうか各現場においても指示や確認を適宜行なっていってください。

今年度もコロナによる影響で、本社部門、建設現場部門ともに例年と比較することが難しい結果となりました。しかしながら、この先も影響は少なからずありますので、現状を例外とすることなく、次の中長期計画を策定する際には、さまざまな状況を想定しながら目標値を考えていきましょう。管理の手法が妥当なのかどうかも含めて、必要に応じて適宜見直しをしてまいりましょう。当社にとって大変な状況が続いてはおりますが、これを機に環境負荷逡減を行っていくことで経費の節減にも繋がるということを改めて念頭において、各取り組みを実施していきましょう。

13年目の審査を迎え、各取り組みのアイデアも少なくなってきたかもしれませんが、低減の余地がまだどこかにないか、今まで取り組んできたOA機器や電化製品の買い替え、室内照明のLED化、古い社有車の買い替えなど、予算の都合もありますが、定めた目標の達成に向けて設備更新も引き続き進めて参りましょう。

ただ、大切なことは社員一人一人の節電や節水に対する意識があるかどうか、です。不要な電気を使用していないか、冷暖房の使用は適正か、3階までのエレベーター使用を抑制しているか、水道を無駄に使っていないか等、取り決めた事項に対して全員の意識が希薄になっていないか、委員の皆さんが中心となって確認業務やさらなる啓蒙活動を行なっていってください。

2022年11月1日

代表取締役 石松 肇

代表者による全体評価と見直しの結果

				経営者	管理責任者	作成者
				石松(肇)	長田	石松(晃)
				2022/10/31	2022/10/31	2022/10/31
開催日	2022年10月31日	場所	石松組 本社	作成日	2022年10月31日	
出席者	石松(肇)代表取締役・石松(次郎)営業部長・長田工事部長・福建築課長・石松(晃)					
内容						
総評 (経営者指示・コメント)	<p>2011年1月の認証取得以来、当社の環境経営活動も13年が経過いたしました。各種取組みによって社員のみなならず協力企業も含め、環境に対するエコ意識の向上及び環境活動も定着していると思います。</p> <p>今年度もコロナウィルスの影響が続き、工事受注高に関しては昨年同様に大幅な減少が続いてしまいました。その影響により結果としては皮肉なもので環境負荷低減になっている部分が多分にあるわけですが、目標未達に終わった項目もありますので、さらなる節制や省エネ設備に更新できるものは適宜行なっていきましょう。この受注減という現状を踏まえ、経営を圧迫させないためにも改めて各種取組みに対する意識を全員で高めてまいりましょう。</p> <p>大変厳しい状況が続いておりますが、今後も顧客のニーズに最大限答えつつ、環境への配慮を各現場単位でも引き続き考え、SDGsの他項目にも鋭意取り組んでいきましょう。</p>					
環境方針・目的	<p>本社部門においては引き続き、給湯器具の使用を必要最小限に留めるよう努力し、節水も意識して参りましょう。事務所のエアコンの温度設定は夏季:28℃・冬季:22℃を守り、温度管理の啓発、徹底を図ってください。また、健康増進も兼ねて、社員の3Fまでのエレベーターの使用は引き続き原則禁止といたします。</p> <p>建設現場部門では、不要な資源消費とならないよう、また産廃排出量の低減に努めるよう協力企業への依頼も各現場で行ってください。また、利用度の高いガソリン・軽油の削減については、エコドライブの徹底、公共交通機関の利用促進を引き続き行ってください。</p>					
変更の必要性の評価	<p>方針・目的の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p> <p>様式・文書の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p>					
環境経営目標	<p>近況2年はコロナによる例外的な数値が続いておりますが、今後も継続して、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の項目について-1%/年毎の目標を維持することいたしました。ガソリン・軽油使用量についてはアイドリングストップやエコドライブの実施を徹底して行うとともに、燃費での管理も引き続き行いましょう。購入電力については不要な電力消費とならないよう1人1人が注意し、節電を常に意識してください。排水量については引き続き手洗いうがいもしっかりと行いつつ、節水を心掛けて目標達成に向けて努力しましょう。</p>					
変更の必要性の評価	<p>目標の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p> <p>様式・文書の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p>					
その他環境経営システムの要素へ加え得る変更	<p>原油価格高騰もあり、資材単価も各方面で上がっております。社内においては、節電、省エネの意識を全員で徹底しましょう。また、随時行っている各種設備・機器の新規購入や買替え、更新の際には引き続き省エネ効果の高いもの、またはグリーン購入を選定要素の最優先として検討してください。また、各種取組みに関して新たな意見、提案を社内、協力企業に広く求め、今後の活動に活かしていただきたいです。コロナの状況次第ではありますが、機会があれば外部団体の環境講話を受講してみてください。</p>					
変更の必要性の評価	<p>手順・方法の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p> <p>様式・文書の見直しは必要か (要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p>					

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

弊社は以下の環境関連法規について、別添様式の「法的及びその他要求事項の特定・遵守評価表」を作成し、法令の遵守並びにその評価を行っています。

2022年11月1日現在、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありません。

また、地域住民からの苦情等もありません。

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 建設リサイクル法
- ・ 東京都環境確保条例
- ・ 港区環境基本条例
- ・ 港区廃棄物の処理および再利用に関する条例
- ・ 川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例
- ・ 横浜市生活環境の保全等に関する条例
- ・ 消防法